

伝統技工で機能美を表現した万年筆

『伝統漆芸 噉(なわて) 万年筆 箔散』

11月23日(木) 全国発売

セーラー万年筆(社長：町克哉、本社：東京都港区)は、「伝統漆芸 噉(なわて) 万年筆 箔散(はくちらし)」を全国のセーラー万年筆製品取扱販売店にて、2023年11月23日より全国発売いたします。

■『伝統漆芸 噉』

新たなシリーズ、「伝統漆芸 噉」は蓋に特長的な筋状成形を施し、機能美あふれる仕上がりとなっております。

地に施されたムラのある燻し銀箔は洋の雰囲気を醸し、そこに箔を散らし漆で仕上げています。

◆名称の由来

噉…縄手/噉(なわて) NAWATE

1. 田の間の道。あぜ道。なわて道。

2. まっすぐな長い道。

3. 縄の筋、なわ。(出典：デジタル大辞泉)

伝統漆芸 噉 万年筆の最大の特長である蓋の筋状成形のイメージから着想して「噉」と命名しました。

煌-koh-
(金箔)耀-yoh-
(銀箔)赫-kaku-
(銅箔)

●筋状成形を施した蓋

会津若松で三代つづく漆工房、「漆工よしだ」。

会津塗の技法に拘らず、器の用途により合うカタチ・技法を考えながら制作している漆工、吉田徹が万年筆に合うカタチ・技法を考えて生まれた「伝統漆芸 噉 万年筆」。蓋に伸びる筋は縦長の視覚効果と、持った時の指の掛かりによる蓋の開け閉めの安定感を考慮した形状で、まさに機能美といえます。



●会津塗の特長と歴史

会津塗は、福島県の西部に位置する会津地方に江戸時代から伝わる伝統技法で作られた工芸品です。盆地特有の湿潤な気候が漆を扱う環境として適していました。縁起の良い意匠や多彩な加飾の美しさがあります。

会津塗の産業としての歴史は、1590年(天正18年)、蒲生氏郷が会津に入封したときに始まります。

江戸に近いこともあり、漆の木の栽培から加飾まで、作業を一貫して手がける一大産地となり技術革新にも取り組み、幕末には外国に輸出されるほどになります。

【筋状成形+箔散工程】



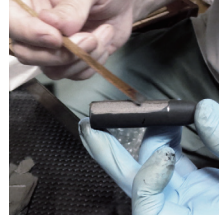
①木固め



②下地



③研ぎ



④筋作り



⑤筋研ぎ

①木固め
その後の工程で漆が乗りやすくなるため、漆を木に吸わせませす。
②下地(砥の粉と地の粉と漆)
どちらも下地の厚みを出すために塗ります。砥の粉は主に肌が滑らかな厚みで、地の粉は固さを増すためのものです。
③研ぎ
④筋作り(下地で盛り上げ)
⑤筋研ぎ
⑥塗り



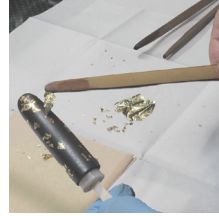
⑦和紙着せ



⑧地固め



⑨黒銀箔



⑩箔散らし



⑫完成

⑦和紙着せ(全体に和紙を漆で貼る)
下地を盛ると衝撃に弱くなりますが、和紙の絡んだ繊維で肌をつくることで強固にする効果があります。
⑧地固め(和紙に漆を吸わせ固める)
⑨黒銀箔
地の黒(グレイ)の部分は燻した銀箔です。燻しにはムラがあり、そのムラを表裏ランダムに載せることで、地にも表情を出しています。その上から箔を散らします。
⑩箔散らし
⑪摺漆仕上げ×2
⑫完成



漆工
吉田 徹(よしだ とおる)

1968年 会津若松生まれ
1987年 家業の漆工房に入る
1993年 長野・木曾の佐藤肝朗氏に師事
1996年 会津若松にて独立
2002年 伝統工芸士認定
2004年 初個展 以降個展グループ展を重ねる



世界で評価された 21 金ペン先

セーラー万年筆独自の技術で成し得た 21 金ペン先。万年筆のペン先として多く使われている 14 金や 18 金に比べて弾力をもたせており、筆圧が強くなってもペン先の切れ込みが開くことなく、インク切れが起こりにくくなります。“しなる”ように紙面を滑り、常に安定したインク供給で“フェザータッチ”とも言われる快適な書き味が楽しめます。しなやかな書き心地を実現した、万年筆の原点が感じられる逸品です。



【製品スペック】

品名：伝統漆芸 嘜 万年筆 箔散

希望小売価格：209,000 円（本体価格 190,000 円）

ペン先：21 金、中字、大型

蓋：黒檀、筋状成形、漆塗り、箔散

胴：黒檀、漆塗り、箔散

大先：PMMA 樹脂

金属部品：金 IP 仕上げ

本体サイズ：φ18.7×151.6mm、31.0g

パッケージ：オリジナル木箱（桐箱）、(W207×D70×H91mm)

セット内容：伝統漆芸 嘜 箔散 1 本、
クリーニングクロス 1 枚、カートリッジインク(ブラック) 2 本、
万年筆用使用説明書 1 部、製品説明書 1 部、万年筆品質保証書 1 部



パッケージ

天面に伝統漆芸の箔押しを施した桐箱。
台座付きのカブゼ箱でこれまでにない和洋の雰囲気をも併せ持つ「伝統漆芸 嘜」シリーズオリジナルの木箱となります。

【製品の取り扱いに関する問合せ先】

ユーザーサービス：0120-191-167（フリーダイヤル）

以上

《当リリースに関する問合せ先》

開発本部：03-6670-6605 木村 (kimura-a@bungu.sailor.co.jp)

不在時：開発本部 徳増 (tokumasu-k@bungu.sailor.co.jp)

※画像のご依頼は、木村 (kimura-a@bungu.sailor.co.jp) までお願いいたします。

※当資料は、東商記者クラブに投函しております。

会社概要：セーラー万年筆株式会社（代表取締役社長 町克哉）コード番号 7992 東証スタンダード

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 4-1-28 虎ノ門タワーズオフィス 10 階

Tel: 03-6670-6601 URL: <https://www.sailor.co.jp>